

平成29年3月28日
防 衛 省
外 務 省

CV-22オスプレイの横田飛行場への配備延期について

日頃より、日米同盟、在日米軍施設・区域に係る行政に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

3月13日（現地時間）に米国防省が公表した、横田飛行場に配備予定のCV-22オスプレイの最初の3機の到着を延期することにつきまして、今般、延期理由、今後の配備スケジュールについて確認いたしましたのでお知らせいたします。

CV-22オスプレイの横田飛行場への配備延期について

平成29年3月28日
外務省・防衛省

1 当初の配備計画

- 平成27年5月11日(米国時間同日)、米国政府から、2017年後半からCV-22オスプレイを横田飛行場に配備する旨の接受国通報。米国防省は同月12日(米国時間11日)に同内容を発表。
- 米側によると、最初の3機を2017年後半に配備し、2021年までに計10機を配備する予定。

2 配備延期の公表

- 2017年3月14日(米国時間13日)、米国防省は、横田飛行場に配備予定のCV-22オスプレイのうち、最初の3機の到着を調整することを公表。
- 当初、2017米会計年度の第4四半期の到着を発表していたが、現時点では、2020米会計年度(2019年10月～2020年9月)に到着することを予定。

3 米側から説明がなされた配備延期の理由及び今後のスケジュール

- 延期理由
 - CV-22オスプレイの必要な機体数の確保に当初の想定よりも時間を要することが判明。
 - CV-22オスプレイのパイロット及び整備士の訓練に当初の想定よりも時間を要することが判明。
 - 米空軍の他の運用との兼ね合い。
- 配備スケジュール
 - 2020米会計年度(2019年10月～2020年9月)に、第1陣が横田飛行場に配備が開始される予定

4. 配備の意義

- 我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、高い性能を有するCV-22オスプレイが我が国に配備されることは、日米同盟の抑止力・対処力を向上させ、アジア太平洋地域の安定にも資する。

(参考)

平成29年3月13日(現地時間)米国防省発表(仮訳)

米国防省は、横田飛行場に配備予定のCV-22オスプレイのうち、最初の3機の到着を調整することを公表した。当初、2017米会計年度の第4四半期の到着を発表していたが、現時点では、2020米会計年度に恒久的に到着することを予定している。

IMMEDIATE RELEASE

UPDATE: CV-22 Osprey Squadron to be Stationed in Japan

Press Operations

Release No: NR-092-17

March 13, 2017

PRINT | E-MAIL

Alpha

The U.S. Department of Defense announced an adjustment to the arrival of the initial three CV-22 Osprey aircraft to be based at Yokota Air Base, Japan. Originally announced to arrive in the fourth quarter of fiscal year 2017, DOD now expects their permanent arrival in fiscal year 2020.

The original announcement can be found here: <https://www.defense.gov/News/News-Releases/News-Release-View/Article/605494/cv-22-osprey-squadron-to-be-stationed-in-japan>
